



オレゴン州の観光名所クレーター湖にて

# 世界へ飛び出せ！ 明大生 協定校留学日記



Vol.10 アメリカ・オレゴン大学  
私の原点

情報コミュニケーション学部4年  
山田 未来奈

いと、「ジャーナリズムを学ぶことができる環境に身を置きたい」という思いが重なり、留学することを決意しました。

オレゴン大学を留学先として選んだのは、ジャーナリズム教育が充実しているという理由からで、留学中はもちろんジャーナリズム学部の授業を中心に受講しました。中でも特に印象に残っているのは、秋学期に受講したゲストスピーカー形式の授業です。講師は元ニューヨークタイムズの記者や、大手テレビ局のディレクター、PR会社の経営者など多岐に渡り、貴重な話をたくさん伺うことができました。日本では会うことができなかつたような人々の話を聞き、ジャーナリズムに対する新たな視点を獲得したことに加え、自らのキャリアプランを考え直す有意義な機会となりました。私は、特定の学部には所属せず自由に授業を取ることができたので、メディア

関連以外の授業もいくつか取りました。人権問題への興味から、社会学系のディスカッションの授業を取ったのですが、そこで留学生活最大のピンチに見舞われます。膨大なリーディングとライティングの課題が毎週出され、授業中の発言が成績になるというもので、人権分野の基礎知識がなかった私は自分の選択を大いに後悔しました。課題は友人の助けもあり、時間をかければなんとかなりました。が、授業中のディスカッションが問題でした。それまでは、人前で失敗することを恐れて不確実な発言をためらっていたのですが、そうも言っていられませぬ。英語が少し間違っただけでも、知らないことがあっても恥を捨てて意見することを心がけました。何度も心が折れそうになりましたが、この授業のおかげで精神的に強くなれたと感じています。



1番新しい講義棟、黄色いOのマークがスクールロゴ

帰国後は就職活動を行い、無事



アメリカンフットボール学生応援席の様子

さて、大学で情報コミュニケーション学部にも所属している私は、主に

大学はスポーツに力を入れており、週末になると学内のスタジアムやコートで様々な試合や競技会が開催されていました。一昨年は大学のアメリカンフットボールチームが全米で2位になり、学校全体で大いに盛り上がりました。

メディアの勉強をしています。正直なところ、入学当初は専攻に対してそれほど強い思いはありませんでした。しかし、授業を通じてメディア史やメディア論を学んでいくうちにジャーナリズムの面白さに気づき、もっと深く知りたいと思うようになりました。ちょうど同じ頃、小中学校の時に海外のマースクールに行った時の思い出やホームステイをした体験を思い出すことがありました。日本で生まれ育った私にとって、幼い頃の海外経験はとても刺激的なもので、その時に抱いた、「いつかは長期間外国で生活してみたい」という思

私は2014年9月から2015年6月までの約10ヶ月間、アメリカのオレゴン大学に留学していました。オレゴン州は西海岸に位置しており、四季があります。一年を通して比較的過ごしやすい気候ですが、冬場は雨季になり、曇りがちまたは雨がほとんどです。オレゴニアン（オレゴンで生まれ育ったオレゴン人）は雨

に慣れっただけ傘をささないことで有名です。オレゴン大学はユージーンという街にあります。大きな都市ではありませんが、自然豊かで比較的治安がよく、消費税がないため生活費も比較的安く留学生に適した環境ではないかと思えます。

### Profile

山田 未来奈  
Mikuna Yamada

宮城県仙台市出身  
情報コミュニケーション学部4年  
ハウスゼミナールにて英語メディア研究  
国際交流サークルM.I.F.O.に所属



冬休みに訪れたニューヨークにて

内定をいただくことができました。留学を通して得た、新しい環境に飛び込んでいく姿勢や自ら課題を見つけて解決に向けて行動していく姿勢は私の就職活動の軸になりました。このような貴重な機会を与えてくださった明治大学とオレゴン大学両校、そしてお世話になった方々に感謝するとともに、この経験をこれから生きていく上で迷った時、立ち戻る原点にしたいと思っています。